

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

# KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2022.3  
SPRING No.21

熊本県サッカー協会広報紙

2022年3月10日発行 通算第105号

発行者/一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会



©H.Wanibe/JBFA



©FIFA via Getty Images

特集

## 県関係選手が世界の舞台で活躍

2022年の熊本県サッカー界は、県立大津高校の第100回全国高校サッカー選手権での準優勝というビッグニュースで幕を開けました。一方、昨年を振り返ると、ロアッソ熊本の4シーズンぶりのJ2昇格(J3優勝)や、さらに大きな世界の舞台で県関係選手が活躍する姿が、県民に大きな勇気を与えました。今号の特集では、ビーチサッカー日本代表の松尾那緒弥選手と東京2020パラリンピック5人制サッカー日本代表の黒田智成選手にインタビューしました。

コロナ禍がスポーツ界にも多大な影響を与えた2021年。その一方で、1年延期になっていた東京五輪が開催され、各種目での日本勢の活躍が国民に大きな感動を与えるなど、改めてスポーツの力が見直された年でもありました。

そうした中、サッカーの世界的な大会で、県関係の選手が日本代表として日の丸を背負い、目覚ましい活躍を見せました。ビーチサッカーの松尾那緒弥選手(アヴェルターJ熊本所属)は、昨年8月にロシアで行われたワールドカップに出場。見事決勝進出を果たし、過去最高成績となる準優勝に貢献しました。

また、ブラインドサッカーの黒田智成選手(八代市出身)は、9月に行われた東京パラリンピック2020にチームの中心選手として参加。パラリンピック初出場のチームで精神的支柱としての役割を担い、5位入賞を果たしました。

「世界」という舞台に立った2人が目にしたものは? そこで感じた世界との差やこれからの目標などを、たっぷりと語ってもらいました。たとえカテゴリは違っても、同じサッカーファミリーとして高みを目指す彼らの言葉は、きっとコロナ禍に負けずに練習に励んでいる若い世代の胸にも響くはずです。ぜひ一読ください!

### 用具の貸出を行っています!

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。  
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

アレがない...

コレがない...

貸出用具の一例

AED(自動体外式除細動器)

移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

## KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

# 広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕様: タブloid版・8ページ 横273mm×縦406mm  
発行部数: 5,000部/1回  
配布対象: 会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。



# BLIND SOCCER

## 特集 県関係選手が世界の舞台で活躍

# BEACH SOCCER

### チャレンジし続けることで 自分もチームも可能性が広がる

INTERVIEW 02

### ビーチサッカーの魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい

INTERVIEW 01



東京2020パラリンピック5人制サッカー日本代表  
くろだ ともなり  
**黒田 智成**さん

#### Profile

1978年10月9日生まれ。八代市出身。6歳の時に全盲になり、筑波大学大学院在学中の2002年にブラインドサッカーを始める。同年に日本代表に初選出されて以来、アジア、世界のさまざまな大会で活躍。現代表選手の中で最も長い代表歴を持つ。昨夏のパラリンピック東京大会では、5-6決定戦のスペイン戦の決勝ゴールを含め3得点を挙げる活躍。164cm、59kg。

©JBFA

「ブラインドサッカーを始めた経緯を教えてください。」  
生後3カ月で左目を摘出し、6歳の時に右目も摘出して全盲になりましたが、わずかに残っていた右目の視力で、当時から残っていたアニメ「キャプテン翼」をテレビにかじりついて見ていたのがきっかけで、自宅の庭で

「見えない中でプレーすることに恐怖感はないですか？」  
私の場合、幼い頃に全盲になったので、恐怖感などはほとんどありませんでした。ただ、実際のサッカーのプレーや動きをほとんど見ることがないので、それを一つ一つ自分の中でイメージして動きに落とし込むまで大変でした。ブラインドサッカーの魅力は、どんなところでサッカーをするか、最大の魅力は、何と言っても自由であること。もう一つは、競技を通じて多くの人と出会えること。サッカーを通じてこれまで障がいについてあまり関心なかった人たちが仲良くなり、また、外国の人たちともたくさん出会うことができました。そうした出会いの架け橋になってくれたのがブラインドサッ

「東京の舞台は幸せな時間、自分たちのプレーで恩返しをしたか？」  
サッカーは1人ではできませんから、仲間集めからスタートしました。他にはチームがないので、最初に集まったメンバーが日本代表です。そうやって経験した人が、それぞれに仲間を集める形で少しずつチームが増えていきました。当時は代表として遠征に行くにしても、費用はすべて自分たちでねん出しないといけないので、選手だけでなくコーチやチームスタッフも手弁当で参加していました。そうすれば人たちの想いや努力がなければ、今のブラインドサッカーはなかったと思います。パラリンピック初出場が母国開催でしたが、特別な思いは？

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

©H.Wanibe/JBFA



ブラインドサッカー日本選手権で過去4度のMVPに輝くなど、日本を代表する選手の一人である黒田選手

©H.Wanibe/IBSA PRESS



苦楽を共にしてパラリンピック初出場を果たしたチームメイトやスタッフと一緒に記念撮影



ビーチサッカー日本代表  
まつお なつなり  
**松尾 那緒弥**さん

#### Profile

1988年8月18日生まれ。長崎市出身。小学1年生の頃からサッカーを始め、宮崎日大を経て進学した宮崎産業経営大学在学中にビーチサッカーと出会う。卒業後はブラシア山口に5年間在籍したのち、2016年からアウエルダーズ熊本でプレー。山口時代の2012年に初めてビーチサッカー日本代表に選出されて以降、これまでW杯に4回出場。昨年行われた大会では、決勝で開催国のロシアに敗れるが過去最高の準優勝を果たす。167cm、62kg。

©JBFA

「ビーチサッカーを始めた経緯を教えてください。」  
大学生の頃、サッカー部のレクリエーション的な活動で大会に参加したのがきっかけです。ドリブルが好きだったので、「砂浜でのサッカーなんて面白くないだろう」と思い込んでいたのですが、実際は思った以上にドリブルできて、「これは面白いな」と感じ、のめり込んでいきました。そこから日本代表への道のりは？

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

「大会を終えて感じたことは？」  
W杯の決勝でプレーするなどの想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができたのは、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目され

©H.Wanibe/JBFA



24歳で初めて日本代表に選ばれてから間もなく10年。「呼んでくれる監督や周囲の支えで続けられている」と話す松尾さん



松尾さんの日本代表での経験がチームに還元されている



SPECIAL INTERVIEW

特別インタビュー

祝! 県立大津高校 全国高校サッカー選手権 準優勝!!



写真提供: 太田黒航一

山城監督&平岡総監督に聞く

昨年12月28日から首都圏で行われた「第100回全国高等学校サッカー選手権大会」に、熊本県代表として3年ぶりに出場した県立大津高校。これまでの最高成績だったベスト8の壁を突破し、県勢として67大会ぶりとなるベスト4に進出。準決勝の対戦相手が辞退したことにより進んだ決勝では、青森山田に敗れて初の全国制覇こそ逃したが、準優勝という結果を残した。就任2年目の山城朋大監督と、同校教諭時代から長年指導にあたっている平岡和徳総監督に、大会を振り返ってもらった。

長年の積み上げの成果が 今回の準優勝につながった



山城 朋大 監督

やましろともひろ / 1989年4月11日、熊本市生まれ。熊本市立錦ヶ丘中学校から大津高校へ進み、卒業後は福岡教育大学に進学。同大学院を経て、2014年より6年間、大津高校サッカー部のヘッドコーチを務める。2020年4月から熊本県教員となり、保健体育教諭として同校に赴任、監督となる。

改めて実感できた 高校スポーツの素晴らしさ



平岡 和徳 総監督

ひらおかかずのり / 1965年7月27日、松橋町(現宇城市)生まれ。松橋中から進んだ帝京高(東京)3年時に主将として全国高校選手権大会で優勝。筑波大学卒業後、熊本県教員となり、1993年に大津高校に赴任。2017年より宇城市教育長を務める傍ら、サッカー部総監督として指導にあたる。

「大会全体を振り返っていただけですか。山城 今回、自分たちの活動がこれほど多くの皆さんに応援されていること、高校選手権という大会の大きさを実感しました。私が在学中に出場した時も、コーチとして関わっていた過去2回の出場時も、選手権が注目される大会であることは理解していましたが、しかし今回、ベスト8進出後や、その準々決勝で前橋育英高校に勝った後に送られてきたメッセージの数々、熊本日日新聞に寄せていただいた応援メッセージ、高校公式ホームページへのアクセスの伸びなどを通して、「ここまで多くの人に見てもらっているのか」と、実感しましたね。」

「これまでの壁(ベスト8)を破ってベスト4進出。準決勝は関東第一高校の辞退により試合ができなかったものの、」

「100回の記念大会で、ご自身が帝京高校のキャプテンだった時以来となる、国立競技場での決勝戦でした。平岡 幾度となくベスト4の壁に屈してきましたので、準々決勝で前橋育英に勝った直後は、「やっとここまで来れたな」という安堵感が強くありました。少し時間をおいて、100回大会、新国立競技場での準決勝戦ということで、」

「大会だっただけに、運営上、全てがパーフェクトというところはありません。不測の事態を考えた上で工夫され危機管理を徹底したレギュレーションは実効性が高く、日程についてもプレイヤーズファーストに配慮されていたと感じます。滞在費用等の予算関係については、JFAや高体連、大会スポーツサー等が熟議を繰り返して判断すべきものであり、出場校はそこに従うのが当然です。」

「平岡 新国立競技場での決勝戦は、4万人を超える大観衆の中で行われ、やはり「スポーツは社会を動かすエンジン」

「自分の現役時代との重なりもあり、感慨深く大きな達成感を実感しました。準決勝は、夏のインターハイで苦杯をなめた静岡学園が関東第一に敗れ、千載一遇のチャンスと氣を引き締めましたが、相手チームからコロナ陽性者が確認されたことで、不戦勝という形で決勝進出となりました。この結果、チームが消化不良を起こしたのは事実です。」

「ベスト8の時点で唯一の公立高校であり、また出場校全体でも公立高校が少ないのが現状。この点について感じておられることはあるでしょうか? 平岡 中高一貫の指導体制や施設の充実、潤沢な強化費等を考えれば、今後ますます私学の優位性が続くことが予想されます。その中で、この数年は過去のさまざまな実績から、大津高校に対して「公立の雄」と高い評価をいただいていたので、そのプライドをかけて戦うことができたと思います。」

「平岡 最高の結果ではありませんでしたが、最善を尽くして、準優勝までにはたどり着きました。あとは切磋琢磨し、頂点を取るだけです。」

「要因は何でしょうか? 山城 個々の力でいえば昨年のチームの方がバランスが良く、今年のチームに特別な力があったわけではありません。しかし今回の3年生たちは、先輩たちが選手権に出られなかった姿を間近で見、先制点の重要性やチームで徹底することをやり通す大切さを学び、県予選から選手権期間中を通じて成長してくれました。これまでどの違いというよりも、これまで重ねてきた失敗を糧にできたことが大きかったと感じます。」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「山城 進学先を選ぶ際、「大津高校で全国優勝したい」「大津に勝てばJリーガーに近づけるかもしれない」と考えて、熊本に残ってくれる中学生が増えれば嬉しいですね。3種チームの選手にとって、県内の高校やロアソッソ熊本ユースがファーストチョイスになれば、県内でよりレベルの高い戦いができると思います。その中でも、大津高校は常に熊本をリードする存在でなければならぬと思っていますので、今回の結果を一過性にするのではなく、勝ち続け、いい選手を輩出し続けていければと考えています。」





# スポーツの多様化で感じるサッカーの危機 次代を担う若手指導者の育成も急務

人口比では、全国でも上位のJリーガー輩出数を誇る熊本県。その要因の一つに、キッズから4種、3種まで、育成年代で取り組んできた地道な指導があります。今回は、県内で長く育成年代の指導に携わってきたお2人に、自身の少年時代と現代の指導の違いや熊本県ならではの傾向、さらに今後の育成年代の指導における課題について話をうかがいました。

「まず、ご自身の少年時代を振り返っていただいて、現在の育成年代の指導との違いなどをお聞かせください。」

光永 「私が子どもの頃は、まだJリーグも始まっていませんでしたし、クラブチームもなく、学校の部活動が中心でした。通っていた小学校は県内でも上位で九州大会などにも出ていました。九州大会などにも出ていたのが、学校の先生ではなく地元企業が勤めている社会人の方がコーチとして指導に来てくれていました。練習も毎日あるし、土日は練習試合で、部活動としては熱量がすごかったのを覚えていますね。練習もスパルタでできなかったらコーチの家に呼ばれるくらいでしたから(笑)。」

下川 「私が生まれたのは岡山県玉野市で、その後、父の仕事の関係で千葉県習志野市を経て、茨城県に引越しました。小学5年生の時にJリーグが始まり、当時所属していたチームがジュニアユースを立ち上げるようになって、セレクトションを受けて1期生として入団しました。セレクトションをするようなクラブチームはレベルも高かったのですが、当時はまだ中体連のチームの方に力がありました。ただ、学校によってレベルが違うことは感じていました。」

「それは指導の質の違いということになるのかもかもしれませんね。指導そのものは、現在と当時で違いがありますか?」

下川 「私が教わった指導者の皆さんは、日本サッカー協会がキッズ年代で今も大事にしていることを、当時から先駆的に指導してくれていたと思います。クラブの代表が、日本サッカー協会の指導者ライセンスの仕組みづくりに関わった方だったので、私自身がライセンス取得の際に学んだのと同じようなことをしてくれていました。」

光永 「指導者ライセンス制度ができて、ライセンスを持つ人は増えたと思います。一方で、(指導者の)レベルの格差が広がったように感じます。資格取得後も学び続ける指導者と、資格を取って終わりと指導者では、教わる子どもたちの質にも差が生じ、その差はどんどん開いていくんです。高体連とジュニアユースがあるように、3種、4種年代でも街クラブとJアカデミーの差が出てきているのではないのでしょうか。指導の質はむしろ、教えている内容も違います。指導の違いという意味では、JクラブのアカデミーとJFAアカデミーでもそれを感じることがあります。」

下川 「私たちが子どもだった頃の大きな違いの一つに、メディアを通してサッカーを見る環境が整っていることが挙げられると思います。私たちが子ども頃はJリーグの映像がほとんどでしたが今は海外サッカーを見られる機会が増え、子ども達に好きな選手を聞くと、挙げてくるのは海外の選手の名前ばかりです。もう一つは、クラブ数が増えてサッカーをする環境を選べるようになったことですね。」

光永 「今はチーム戦術を教えるクラブも増えていきます。ポードを使いながら、ピッチ全体を俯瞰して「面」で見えていますし、自チームの分析のために、選手1人1人にGPSを装着させるところも出てきています。」

下川 「当時の指導者も情熱を持って接してくれていたと思いますが、今ほど難しいことは教えていなかったかもしません。シンプルに楽しませる部分は変わらないけれど、よりいいサッカーをしようという、チームとして目指すレベルが上がっていると感じます。」

「それによって子ども達のレベルは上がりますね。他に変化を感じる部分はありますか?」

光永 「下川さんのいるロアッソ熊本のように、Jクラブのアカデミーはサッカーに打ち込める環境がありますが、街クラブは運営を続けていくことも大切。チームとして結果を出すことだけでなく、人間性の育成も求められるようになってきています。下川 「確かに、我々はサッカーに打ち込みやすい環境で指導さ

せてもらえていると思います。トップチームに繋いでいくという目標もあるので、サッカーで成果を上げることが大切ですが、同時に、多くの人に応援してもらえるような選手になれるよう人間性を向上させ、熊本の子たちのお手本になるような選手を育てなければいけないと思います。」

「熊本県ならではの傾向や、取り組んできたことの成果についてどう思われますか?」

光永 「JFAアカデミー熊本宇城ができ、県内の指導者に向けて情報を発信してくれたことで、指導者にとって勉強になることも多く、熊本県にとってもプラスになっていると感じます。以前、ロアッソ熊本のアカデミーダイレクターだった永尾健次さんも、「Jクラブのアカデミーのセミナーがあるから一緒に行きましょう」と、クラブ連盟の指導者に学ぶ機会を作ってくれたことがありました。JFAアカデミー熊本宇城やロアッソ熊本が県全体を引っ張ってきて、ボールを繋ぐスタイルの浸透など、九州の中でも先端を進んでいるのではないかと感じます。それが高校サッカーにも繋がっていると思いますね。下川 「私が最初に熊本に来たのは、ちょうどロアッソ熊本ができた2005年で、2014年からは宮崎県の日章学園高校、2018年からツエーゲン金沢

に移って、育成年代に関わってきました。その経験から、(熊本は)どこと比べても地域のキッズ年代の活動が非常に盛んだと感じます。キッズ年代の試合数やトレセン活動も充実していますし、指導者も圧倒的に多い。2005年から14年までの間、熊本県の「キッズエリートプログラム」でチーフコーチを担当しましたが、松田天馬(京都)や木戸皓貴(山形)、荒木遼太郎(鹿島)、ロアッソ熊本の樋口叶といった、現在Jリーグで活躍している選手たちがいました。韓国に遠征に行った際には、向こうの監督から「この選手達を(韓国に)置いて行け」と言われたほど素晴らしいパフォーマンスをしていました。そういう、キッズ年代の草の根を広げる活動をしていたのが光永さんでした。」

「それによって子ども達のレベルは上がりますね。他に変化を感じる部分はありますか?」

光永 「巡回指導や交流会、フェスティバルをやりました。ただ最近では、キッズプロジェクトでフェスティバルなどを開催しても、参加者が50人くらいしかないこともあります。保護者の目線が、チームスポーツではなく個人競技を向いていて、バドミントンや陸上競技などを選ぶ子どもが増えていると感じます。昔はキッズフェスティバルに何百人と集まっていたんですが、今は間口を広げてもサッカーが選ばれておらず、育成などと言っている場合ではなく、言っている場合ではないです。5年後でさえ、「サッカー界、すごく危険だな」と感じ

「では、これからの課題としては、スポーツを始めようとする子どもにもサッカーを選んでもらうことが必要になってきますか?」

光永 「今後、少子化が進むにつれて存続できなくなるクラブが出てくると思います。クラブの統合再編の時期にきていて、指導者では食べていけない」と辞めざるを得ない人も出てくるでしょう。育成年代の指導者や街クラブを運営している人たちは、そういったことも頭に入れておかなければいけないと思いますし、子どもにとってもどんなメリットがあるクラブ運営をしていくのかを考えなければいけません。今はテレビを見る子どもが減っていますよね。多種多様にある娯楽や趣味の中から、いいもの、好きなものを選べる時代になっているのは、サッカークラブも同じ。保護者は、指導者が勉強熱心なところに我が子を送り出しています。」

下川 「大事なのは選手に愛情を持って指導することを継続することですが、私たちは同時に、若い指導者の育成にも携わっていることが必要なのではないかと思えます。若いコーチたちの中には、サッカーの知識やスキルはありますが、指導においては知識や知恵だけでなく、いろんなノウハウが必要なんです。そういうことを伝えながら、若手を引っ張っていく存在が重要になってくるのではないのでしょうか。」



しもかわ まさお  
下川 正生さん  
1981年、岡山県玉野市生まれ。帝京高校(東京都)出身。2005年、「クーバー・コーチング・ジャパン」のスタッフとして熊本に赴任し、熊本県サッカー協会が立ち上げた「キッズエリートプログラム」のチーフコーチを務める。その後、日章学園高校(宮崎県)、ツエーゲン金沢アカデミーで育成年代の指導に携わり、2020年からロアッソ熊本ジュニアユースコーチに、今年からジュニア監督兼普及事業統括となる。

「海外サッカーを見る機会が増え、サッカーをする環境も選べるようになった」(下川)



県協会所属チーム紹介

# Pick-up! Football Family Vol.15

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

## チーム発足10年目。O-40のカテゴリーを成績面でも牽引する県内有数のチーム



トレーニングはウォーミングアップを兼ねたパス&コントロールと、メンバーが指導している女子中学生のクラブチームとのミニゲームが中心

練習は毎週月曜と水曜の2回、それぞれ約2時間。取材日には監督の村上さんを含め10名が参加

### シマズ自動車北部

シニア

- 設立/2012年
- 代表/村上 靖司
- 選手数/47名

#### (チーム沿革)

- 2012** (平成24年) KFA第21回熊本県シニアO-40サッカーリーグ2部優勝
- 2013** (平成25年) KFA第22回熊本県シニアO-40サッカーリーグ1部優勝(以後、6回優勝)
- 2020** (令和2年) KYFA第8回九州O-40サッカー大会優勝  
JFA第8回全日本O-40サッカー大会出場



ドリブル中も顔を上げて周囲の様子を把握するあたりはさすが

綺麗なキックの姿勢からも、それぞれが若い頃に高いレベルでプレーしていた経験を持っていることが感じられます



相手のマークを受けても体の向きを変え、しっかりボールをキープ

シマズ自動車北部は2012年、熊本県社会人リーグ1部に所属するシマズ自動車の40歳以上の選手や、熊本市立北部中学校サッカー部OBを中心に発足したチーム。40歳から最年長の54歳まで、現在47人の選手が所属し、熊本県シニアO-40サッカーリーグ1部を戦っています。

初年度に加盟した熊本県シニアO-40サッカーリーグ2部で優勝し1部に昇格。以降、リーグ2位が2度あった以外は全て1部リーグ優勝と、O-40のカテゴリーでは安定した成績を残しています。さらに、2020年には九州チャンピオンとして初めて、JFA第8回全日本O-40サッカー大会にも出場。グループリーグで2勝1敗の結果ながら、得失点差で決勝ラウンド進出はなりませんでしたが、クラブの歴史に新たな1ページを記しました。

メンバーそれぞれが仕事でも責任ある立場に就いているため、練習で人数が揃わない大変さもあるそうですが、「年齢を重ねても負け

たくないという気持ちは変わらず、やる以上は勝ちを目指すのがモットー」と、監督を務める村上志津男さん。毎週月曜と水曜に行っている週2回の練習や週末の練習試合、九州各県のシニアチームとの交流試合などを通してチーム強化を図っています。

ロアッソ熊本が設立された当時の選手だった濱田照夫さんをはじめ、プロ経験のある選手が複数所属しているのも強みで、限られた活動機会の中でも、戦術面も含め常にレベルの向上を目指す取り組みが、好成績につながっているといえます。

新型コロナウイルスの影響により以前と同じような活動はできていない状況ですが、県のシニアO-40サッカーリーグで結果を出し続けること、加えて来年限齢で行われる予定の全国大会への出場も大きな目標。「練習や試合の後に美味いお酒を飲むこと(村上さん)もモチベーションにしながら、今後もシニアのカテゴリーを牽引します。

平成19年12月3日。熊本市役所のホールに設けられた特設会場。幸山政史市長や前田浩文アスリート熊本社長、池谷友良ロアッソ熊本監督、井薫県サッカー協会会長らが待つ中、取り付けられた電話が鳴った。電話を取る前田社長に報道陣のカメラが一斉に向かう。「ロアッソ熊本のJ2入りが決まりました」。鬼武健二Jリーグチェアマンだった。東京・JFAハウスであったJリーグ臨時理事会での結果をチェアマン本人が伝えてきたのだ。会場に詰め掛けていたロアッソの選手たち、報道関係者からも大きな拍手が沸き起こる中で、前田社長ら4人はがっちり握手しながら感慨深そうにうなずき合った。「熊本に3年でJリーグチームを」と平成16年に九州リーグから船出した県民運動が実った瞬間だった。

「熊本にJリーグチームを」という運動が動き出したのは平成15年。西日本地区では有数のサッカー王国熊本で、それまで二度、Jリーグチームを作ろうとの動きはあったが、いずれも不発に終わっていた。当時はN.T.T熊本支店のクラブチームからスタートしたアルエット熊本がJFLから降格し九州リーグにいた。財政的にも行き詰まり、このままではアルエット熊本自体が存亡の危機にさらされていたのである。しかし、九州各県を見ると、北九州市を初め、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄の各県でリーグチームを目指した運動が展開されていた。「熊本がこのまま、手をこまねいていたら、熊本からは永遠にJリーグチームはできない」との危機感がサッカー関係者の中で広がった。

一方、地域振興の最後の政策と期待されていた国のリゾート法が全国各地で失敗し、地方は疲弊するばかり。地方自治体の財政力も低下し、力を失っていた。熊本県も例外ではなく、寿屋やニコニコ堂といった大手の流通業が相次いで倒産。閉塞(いそ)感が漂っていた。九州新幹線の全線開通が平成23年春に迫る中で、県内の経済界でもこのままではいけないという意識が高まっていた。そういう中で、スポーツ、特にJリーグを持つ大分県や新潟県が元気で、地域振興にはスポーツが最も効果的という実例が全国で始まっていた。「このままでは熊本は永遠にJリーグチームは持たない」とのサッカー関係者と「このままでは熊本は停

滞してしまう」との県内経済界の危機感や考えが一致し、「熊本にJリーグチームを」との三度目の挑戦が始まったのである。平成15年9月、行政、経済界、各種団体による会合を初めて開き、「熊本にJリーグチームを」を県民運動として展開することを合意した。平成16年4月には熊本県内の一室を借りて熊本にJリーグチームを「県民運動推進本部準備室」が発足。準備室には県、熊本市、N.T.Tから職員を1人ずつ派遣してもらい、県サッカー協会からは100万円の資金をいただいた。軍資金が全くなかっただけに、これは大きかった。そして同年9月に「県民に元気を」熊本に活力を「子どもたちに夢を」を合言葉に県内の行政、経済界、各種団体の代表者からなる「熊本にJリーグチームを」県民運動推進本部(本部長・永野光哉県体育協会会長)の設立総会にこぎ着けた。本格的な県民運動を展開するゴングが鳴ったのである。大企業が母体となるのではなく、行政と経済界とサッカー協会の協力で県民運動としてJリーグを目指すという熊本の動きは、わが国では初めての取り組みであっただけに、全国の注目を引くことになる。

チームづくりは急ピッチで進んだ。同年11月には監督に元柏レイソル監督の池谷友良氏を内定。12月にはロアッソ熊本の運営会社である株式会社「アスリートクラブ熊本」を設立し、初代社長には荒木時彌県サッカー協会会長が就任した。荒木氏は「熊本にJリーグチームを作ろう」と駆けた有志の一人だった。チーム名は県民に募集した。その中で阿蘇火山を有し、「火の国」のイメージからイタリア語で「赤」を意味する「ロアッソ」とすることを決め、ユニホームの色も赤とした。そして、エンブレムはJリーグチームでは鳥をあしらったのが多い中で、藤崎宮例大祭の主役でもある勇壮な暴れ馬を選んだ。こうして、平成17年2月、ロアッソ熊本は九州リーグにいたアルエット熊本を引き継ぐ形で、多くの協賛企業からの協力を得て、県内初のプロサッカーチームとして誕生。同年4月には第二代社長に前田浩文元県商工観光労働部長が就任した。前田氏もロアッソ立ち上げに参加した有志の一人だった。(次回に続く)

### Jリーグチーム・ロアッソ熊本の誕生

熊本日日新聞社常務取締役 田川 憲生 (肩書きは当時)

### 熊本サッカー今昔物語

(第三回)

創立から70年以上の歴史を持つ熊本県サッカー協会。その歴史を振り返るコラム「熊本サッカー今昔」。今回と次回、特別編として協会前会長で現名誉会長の田川憲生氏が、協会創立60周年記念誌「蹴夢(しゅうむ)」に寄稿されたロアッソ熊本誕生への思いをつづった文章を再構成して掲載します。同氏は、熊本日日新聞社勤務時代に「熊本にJリーグチームを」県民運動推進本部で前身のロアッソ熊本設立に奔走された中心人物で、文章からは当時の熱い思いが伝わってきます。

※文中登場人物の肩書きや団体の名称等は、すべて当時のものです(原文ママ)



# 熊本県 フットボールセンター (仮称)

**INFORMATION**  
—インフォメーション—

2022年8月の完成を目指す「熊本県フットボールセンター(仮称)」(嘉島町)の建設が進んでいます。KFA NEWSでは、同センターに関する情報やお知らせを、毎号お伝えしていきます。県サッカーの強化育成の新拠点となるだけでなく、地域の活性化やスポーツ文化の発信拠点としても注目を集める「熊本県フットボールセンター(仮称)」を、サッカーファミリーの皆さんと“ともに作りましょう!”。

今年8月の開業に向け、Instagramで建設予定地の現場写真やイベント情報を発信中!



## 上棟式を行いました

1月22日に、「熊本県フットボールセンター(仮称)」の上棟式を行いました。この日は、当協会の前川隆道会長をはじめ、センターの運営会社(株)熊本フットボールセンター・松下涼太社長、設計を担当した熊本大学・田中智之教授、併設される企業主導型保育園「こすもす保育園」を運営する社会福祉法人くすの実福社会・津留貴裕理事長ら関係者が出席。玉ぐしを捧げ、工事の無事を祈りました。建物の工事は、今年4月に開園する「こすもす保育園」の園舎部分が先行して進み、さらにその他の部分(カフェ、多目的スペース等)も、8月の完成に向けて着々と形を表していきます。



## 公園利活用の意見募るワークショップを開催

建設が進む「熊本県フットボールセンター(仮称)」内には、約5,000㎡の芝生広場があり、幅広い世代の方々に「まちの余白」という位置づけで思い思いに活用してもらおう計画です。そこで当協会では、その公園(芝生広場)をどう活用するかを地域住民と一緒に考えるワークショップを随時開催しています。昨年11月23日・24日には、嘉島町町民会館でキックオフワークショップを開催。センター建設プロジェクトの概要説明に続き、各地の公園・広場の利活用の事例紹介を行いました。

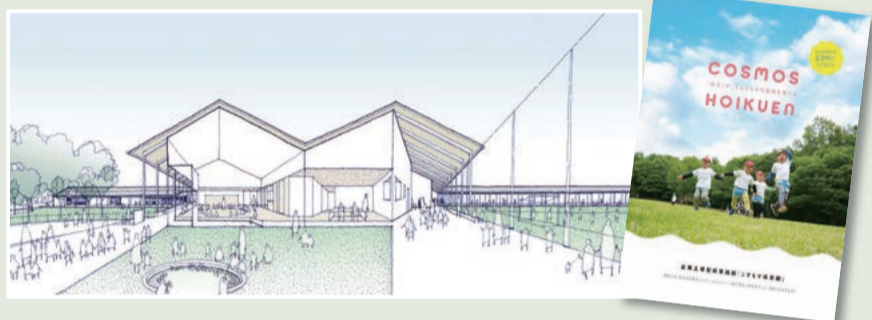
ワークショップでは、「芝生広場で利用・活動したいこと」というテーマを設け、参加者が数人ずつのグループに分かれ、熊本県フットボールセンター内の芝生広場を使って「いつ・誰と・なにをしたいか」を考えてもらいました。当協会では、今後もワークショップを開催していく予定です。

興味のある方は、ぜひ協会ホームページ(<https://kumamoto-fa.net/>)をチェックしてください。



昨年11月23・24日に行ったワークショップの様子。多くの方が参加し、公園利活用について意見を交わしました

## 企業主導型保育園「こすもす保育園」入園説明会



今年4月に熊本県フットボールセンター(仮称)内に開設する企業主導型保育園「こすもす保育園」。現在、園舎の工事も大詰めを迎え、開園に向けた準備が着々と進んでいます。「多様な実体験環境の提供によるやさしい心、強い心、たくましい体、自ら生きる力の育成」を保育目標に掲げ、「ねばり強いこども」「すべてのものに思いやりをもてるこども」「食を大切にすることも」を育てることを目指しています。同園では、下記の日時で入園説明会を予定していますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

### 第4回 入園説明会

日時/3月13日(日) 14:00~15:00  
会場/嘉島町総合運動公園会議室  
(上益城郡嘉島町下六嘉1564)  
定員/20名

### 第5回 入園説明会

日時/3月27日(日) 14:00~15:00  
会場/嘉島町民会館2階会議室  
(上益城郡嘉島町上島545)  
定員/30名

●お問い合わせ  
くすの実福社会事務局 ☎096-338-0371

入園説明会に関する詳しい情報はコチラをチェックしてください  
<https://kumamoto-fa.net/footballcenter/>



こすもす保育園InstagramQR

## 寄付及び投資の 途中報告とお願い

おかげさまで、寄付及び投資の呼び掛けに対して県内外から多くのご賛同をいただき、金額も徐々に増えています。これも、「県サッカー界の新拠点」「地域活性化やスポーツ文化の発信拠点」という趣旨へのご理解の賜物と感謝申し上げます。

しかし、目標額到達にはまだまだ熊本のサッカーファミリーの皆様のご協力が欠かせません。県サッカーの強化育成の拠点は、皆さんお一人お一人が作り上げるものです! ぜひさらなるご支援をお願い致します。

### 寄付及び投資額(2月末現在)

- 寄 付  
17,617,000円(225の団体及び個人) / 目標額30,000,000円
- 投 資  
A号) 4,740,000円(40の団体及び個人) / 目標額21,000,000円  
B号) 24,000,000円(33の団体及び個人) / 目標額40,000,000円

### 寄付の方法

#### 1)クラウドファンディングプラットフォームを利用する

<https://www.glocal-cf.com/>  
または右記のQRコードよりお申し込みいただけます。



#### 2)ゆうちょ銀行を利用する

お近くの郵便局で、窓口を設置してある「払込取扱票」「郵便振替払金領込請求書兼受領証」をご利用の上、お振込みいただけます。

- ゆうちょ銀行振込 ..... 01790-4-152698
- 他行への振込 ..... 一七九店 当座 0152698  
口座名義/一般社団法人熊本県サッカー協会  
カナ/シャ) クマモトケンサッカーキョウカイ

### 1口あたりの寄付金額

- 協会登録チーム  
.....10,000円/1口(芳名板掲載: 30,000円以上)
- 協会登録選手、指導者、審判員  
.....1,000円/1口(芳名板掲載: 10,000円以上)
- 一般(企業)  
.....10,000円/1口(芳名板掲載: 50,000円以上)
- 一般(個人)  
.....1,000円/1口(芳名板掲載: 20,000円以上)

※( )内の金額以上のご寄付をいただいた場合、センター内に設置予定のネームプレート(芳名板)に、お名前(またはチーム名、企業名)の掲載を致します。お振込みの際に掲載希望のネーム(アルファベット20文字以内)を記載してください[寄付方法1の場合は「備考欄」、寄付方法2の場合は「通信欄」]。

### 投資に関する情報と方法について

社会的投資プラットフォーム「エントライ」(下記URL)にて、熊本フットボールセンター応援ファンドの詳細と投資の方法についてご確認いただけます。



<https://www.en-try.jp/feature/kumamoto-football/>



# スタジアムで ロアッソ熊本を応援しよう!

## 2022明治安田生命 J2リーグ / ロアッソ熊本ホームゲーム日程

節	日程	対戦相手	試合会場
第5節	3月21日(月・祝) 13:00開始	 V・ファーレン長崎	えがお健康スタジアム
第8節	4月 3日(日) 13:00開始	 アルビレックス新潟	えがお健康スタジアム
第11節	4月22日(金) 19:00開始	 ファジアーノ岡山	えがお健康スタジアム
第12節	4月27日(水) 19:00開始	 ベガルタ仙台	えがお健康スタジアム
第15節	5月 8日(日) 13:00開始	 FC琉球	えがお健康スタジアム

■試合日程・チケットに関する詳しい情報はロアッソ熊本公式HPをチェック!

<https://roasso-k.com/>



## Result

各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

### 県内大会・県予選

(1種 学生)

#### KFA 2021年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

日程：2021/7/25～12/5  
会場：東海大学熊本キャンパス他  
結果：Aグループ優勝／東海大学熊本  
Bグループ優勝／熊本県立大学



(2種)

#### 令和3年度県下高校サッカー大会(男子)

日程：2022/1/8～29  
会場：熊本県民総合運動公園陸上競技場  
(えがお健康スタジアム)他  
結果：優勝／大津高校  
準優勝／ルーテル学院高校  
第3位／熊本学園大付属高校

#### 令和3年度県下高校サッカー大会(女子)

日程：2022/1/8～29  
会場：熊本県民総合運動公園陸上競技場  
(えがお健康スタジアム)他  
結果：優勝／秀岳館高校  
準優勝／熊本農業高校  
第3位／球磨中央高校

(女子)

#### KFA 第40回熊本県女子サッカー選手権大会 兼 皇后杯JFA 第43回全日本女子サッカー 選手権大会熊本県大会

日程：2021/8/17～21  
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場  
結果：優勝／熊本ユナイテッドSCフローラ  
準優勝／八代フューチャーズレディース

#### KFA 第10回熊本県U-18女子サッカー選手権大会 兼 KYFA 第25回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2021/8/22  
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場  
結果：優勝／八代フューチャーズレディース  
準優勝／熊本ユナイテッドSCフローラ  
第3位／MELSA熊本FCアマール

#### KFA 第26回熊本県U-15女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第26回全日本U-15女子サッカー選手権 大会熊本県大会

日程：2021/9/18～19  
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場  
結果：優勝／熊本ユナイテッドSC  
準優勝／Fragrant熊本  
第3位／益城ルネサンス熊本FC

#### KFA 第31回熊本県U-12女子サッカー選手権大会 兼 ガールズエイト(U-12)サッカーフェスティバル 第8回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2021/10/9～10  
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場  
結果：優勝／ピアンカスにしはら  
準優勝／FCK MARRY GOLD KUMAMOTO U-12  
第3位／MELSA熊本FCポニータ

#### KFA 第47回熊日学童オリンピックサッカー競技 (女子の部)

日程：2021/11/6、13  
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場  
結果：優勝／MELSA熊本FCポニータ  
準優勝／ピアンカスにしはら  
第3位／熊本ユナイテッドSCエーマ

(フットサル)

#### JFA 第27回全日本U-15フットサル選手権 熊本県大会

日程：2021/9/4～5  
会場：フットボールパーク御代志  
結果：優勝／FC VIVO  
準優勝／バレイアサッカークラブU-15

#### JFA 第27回全日本フットサル選手権熊本県大会

日程：[予選] 2021/10/3、[決勝] 2021/10/10  
会場：大矢野総合体育館  
結果：優勝／エンフレンテ熊本フットサルクラブ  
準優勝／OHANA

### 九州大会

(1種 学生)

#### KYFA 第28回九州高等専門学校(U-19) サッカー大会

日程：2021/12/11～12  
会場：グリーンピア八女(福岡)  
結果：優勝／久留米高専(福岡)  
(熊本高専熊本キャンパス：第4位、  
熊本高専八代キャンパス：第7位)

#### 2021年度九州大学サッカーリーグ代替大会

日程：2021/10/9～12/12  
会場：西都市清水台総合公園多目的広場(宮崎)他  
結果：1部優勝／鹿屋体育大学  
(東海大学熊本：第7位)  
2部優勝／熊本学園大学  
(熊本大学：第11位)

#### 第36回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会

日程：2021/11/26～28  
会場：吹上浜海浜公園人工芝サッカー場(鹿児島)  
結果：優勝／鹿児島大学  
(熊本県立大学：1回戦敗退、崇城大学：1回戦敗退)

大会結果、8ページへ続きます▶



▶大会結果、7ページからの続きです

〈女子〉

**KYFA 第39回九州女子サッカー選手権大会**

日程：2021/9/11～13  
 会場：無観客試合のため非公開  
 結果：優勝／東海大学付属福岡高校(福岡)  
 (熊本ユナイテッドSCフローラ：1回戦敗退、  
 東海大学付属熊本星翔高校：1回戦敗退、  
 熊本ルネサンスフットボールクラブ：1回戦敗退、  
 秀岳館高等学校：1回戦敗退)

**KYFA 第25回九州U-18女子サッカー選手権大会**

日程：2021/10/23～24  
 会場：吹上浜海浜公園人工芝サッカー場(鹿児島)  
 結果：第1代表／ANCLASノヴァ(福岡)  
 第2代表／大分トリニータレディース(大分)  
 (八代フューチャーズレディース：1回戦敗退)

**KYFA 第26回九州U-15女子サッカー選手権大会**

日程：2021/10/30～11/1  
 会場：島原市平成町人工芝グラウンド他(長崎)  
 結果：優勝／casa okinawa ale(沖縄)  
 (Fragrant 熊本：準決勝敗退、  
 熊本ユナイテッドSCフローラ：2回戦敗退)

**KYFA 第32回九州高等学校女子サッカー選手権大会  
 兼 第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会  
 九州地域予選**

日程：2021/11/6～9  
 会場：中津市永添天然芝グラウンド他(大分)  
 結果：優勝／神村学園高等部(鹿児島)  
 (秀岳館高校：2回戦敗退、  
 東海大学付属熊本星翔高校：1回戦敗退)

**JFA U-12ガールズ2021九州・第8回なでしこ  
 MIYAZAKIカップ**

日程：2021/11/27～28  
 会場：宮崎県総合運動公園サッカー・ラグビー場・  
 補助球技場  
 結果：優勝／アイラシカー福岡  
 (ピアンカスにしはら：2位グループ3位、  
 MELSA熊本FCボニータ：3位グループ4位)

〈フットサル〉

**KYFA 第12回九州U-15女子フットサル選手権大会**

日程：2021/11/13～14  
 会場：横川体育館(鹿児島)  
 結果：優勝／日置シーガルズFC  
 準優勝／casa okinawa ale  
 (Fragrant熊本：準決勝敗退)

**KYFA 第27回九州U-15フットサル選手権大会**

日程：2021/11/20～21  
 会場：宮崎県佐土原体育館  
 結果：Aパート優勝／セントラルFC宮崎  
 Bパート優勝／セレソン都城FC(宮崎)  
 (FC Vivo／代表決定戦敗退)

**KYFA 第18回九州女子フットサル選手権大会**

日程：2021/12/18～19  
 会場：佐世保市東部スポーツ広場体育館(長崎)  
 結果：優勝／ViVolugar Futsal Club(長崎)  
 準優勝／ALEGRE CAMINHO(佐賀)  
 (Primeiro熊本：予選敗退)

**KYFA 第7回九州ジュニアフットサル大会**

日程：2021/12/25～26  
 会場：アクション福岡  
 結果：優勝／国見FCジュニア(長崎)  
 (アズリーノ熊本：予選敗退、  
 バレイアサッカークラブ：予選敗退)

**JFA 第27回全日本フットサル選手権九州大会**

日程：2022/1/29～30  
 会場：久留米アリーナ、うきはアリーナ(福岡)  
 結果：第1代表優勝／CRESCER FUTSAL CLUB(福岡)  
 第2代表優勝／R'D/DINO'S(福岡)  
 (EGOISTA：2回戦敗退、  
 FUKUEI JAPAN：2回戦敗退、  
 エンフレンテ熊本フットサルクラブ：1回戦敗退)

**トレメシ**

Vol.15

アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



冬場から春先にかけてのアスリート食は、トレーニングの疲労回復はもちろん、季節柄、風邪やインフルエンザ、その他さまざまな感染症予防に役立つ、体を中からしっかりと温めてくれる食材&メニューを積極的に食事に取り入れて、免疫力アップに努めましょう!

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター  
 熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram (mamipan358)で情報発信中。

recipe 1 **もち米と雑穀で簡単サムゲタン**



骨付き鶏肉は  
 免疫力アップにとても効果的です。  
 さらに、クコの実は滋養強壮、  
 老化防止効果も期待できるスーパーフード!  
 材料に山芋や長芋、ナツメ、白きくらげ、  
 マツの実などを加えると、より本格的な  
 サムゲタンになりますよ。

- 【作り方】
- ① もち米と雑穀を軽く洗って30分ほど水に浸す。
  - ② 長ねぎはぶつ切り、ニンニクは潰し、ショウガは薄切りにする。
  - ③ 材料を土鍋に入れて火にかけ、中火で沸騰し始めたらフタをし、弱火でさらに15～20分煮込む。
  - ④ 塩こうじ、コショウで味を調え、クコの実を入れて出来上がり!

■材料(2人分)

鶏手羽元……………4本	雑穀……………大さじ1・1/2
長ねぎ……………1/2本	クコの実……………大さじ1/2
ショウガ……………1片	塩こうじ……………大さじ1/2
水……………250ml	純米酒……………大さじ1
もち米……………大さじ1・1/2	ニンニク……………1片

recipe 2 **さつまいものガレット**



塩こうじパウダーがない場合には、  
 塩こうじやゲランドの塩で  
 代用してもOK。  
 さつまいもとかぼちゃは、  
 出来るだけ細く切った方が  
 美味しく仕上がります!

- 【作り方】
- ① さつまいも、かぼちゃを斜めに細く切る。
  - ② ボウルに切ったさつまいもとかぼちゃを入れ、片栗粉、塩こうじパウダーをまぶして混ぜる。
  - ③ フライパンにバターと②を入れ、真真中にチーズを乗せてフタをして中火で10分ほど焼く。
  - ④ 裏面に焼き目が付いたらひっくり返し、さらに7分ほど焼いたら完成!

■材料(2人分)

さつまいも(出来れば「紅はるか」を使う)…1本
かぼちゃ……………1/8個
バター……………10g
溶けるチーズ……………50g
片栗粉……………大さじ2～3
塩こうじパウダー……………大さじ1/2

**「KFA NEWS」は、  
 ここで手に入れよう!**

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>

右記QRコードからもアクセスできます➡

編／集／後／記

感染予防対策に取り組みながら、各カテゴリーの大会やトレセン、イベントなどが実施されるようになり、スポーツ界も徐々に熱気を取り戻してきているように感じます。県内でも、昨年は中止された大会が実施されており、加えて、大会が原因での感染増加も発生していないということで、安心と同時に嬉しく思います。今後の感染動向も注目されますが、育成年代の選手たちが思い切りプレーできる環境になることを祈りながら、サッカーファミリー全体をこれからも応援していきたいです。(沢田)

釣り好きの私は、若い頃「俺は人間の漁師になる」と意気込んでいました。しかし、それから40年ほど経った今、「人間の漁師になる」ということは、人材や会員獲得のようなものではなく、自ら社会の中に飛び込んでより多くの人と出会い、その人の喜びや希望、また苦しみや悲しみを知り、共に生きることなんだと思えるようになりました。子どもたちには、「人にやさしく、目標を立てて頑張ろう」と言っていますが、「人間の漁師」も「優しさ」も、その根っこには「心の強さ」がなければならないと切に思います。(山川)